

### 13. 熊本大学保健学教育部改善計画書

領域	改善計画 (H27. 3. 31現在)	改善状況① (H27. 12. 1現在)	改善状況② (H28. 12. 1現在)
教育	(法人評価までに改善する計画) 1) 博士前期課程学生の進学希望状況等を把握するため、アンケート調査を行って進学率を高める方策を検討する。 2) 病院や企業などのニーズ調査方法等について検討する。	1) 博士前期課程学生への進学希望調査によると、16.4%の学生が博士後期課程への進学を希望している。博士前期課程から博士後期課程への進学率向上のため、進学者選抜入試における英語の科目を免除することとした。  2) 全学的に実施している修了生及び就職先へのアンケート調査結果を参考にすると共に、学部の臨床実習打合せや企業説明会を活用して大学に求めるニーズ調査(情報収集)を行うこととした。	改善済み
	(2年間で改善する計画) 1) 社会人学生として博士後期課程に入学する道もあることを博士前期課程学生へ周知する。 2) 引き続き、病院や企業などのニーズ調査方法を検討すると共に、検討結果を基に情報収集を行う。 (臨床実習打合せや企業説明会時の情報収集等)	学部の臨床実習打合せや企業説明会を活用して大学に求めるニーズ調査(情報収集)を行うこととした。	大学に求めるニーズ調査(情報収集)を行った結果、27、28年度博士前期課程からそれぞれ1名の計2名が社会人として後期課程に進学した。引き続き企業説明会を活用して大学に求めるニーズ調査(情報収集)を行い、博士前期課程からの進学者増を目指すこととした。
	(次の組織評価までに改善する計画) 1) 社会人学生として博士後期課程に入学する道もあることを博士前期課程学生へ周知する。 2) 病院や企業などのニーズ調査を検証し、教育研究に活かす。	学部の臨床実習打合せや企業説明会を活用して大学に求めるニーズ調査(情報収集)を行うこととした。	学部の臨床実習打合せや企業説明会を活用して大学に求めるニーズ調査(情報収集)の結果を生かし、博士前期課程からの進学者を獲得できた。引き続き本活動を通して前期課程からの進学者獲得を目指す。
社会貢献	(法人評価までに改善する計画) 保健学系教員及び保健学教育部学生の社会貢献活動に関する情報収集方法及び学内外への情報発信方法(Webページへの掲載等)の体制を検討する。	保健学教育部(教員・学生)の社会貢献活動を保健学教育部Webページに掲載し広報することとし、広報・紀要委員会で情報を収集する体制を整備した。なお、情報収集方法等については、引き続き検討していくこととした。	前年度に広報・紀要委員会において情報を収集する体制を整備し、各専攻の広報委員を通して、随時、情報収集等に努めた。
	(2年間で改善する計画) 保健学系教員及び保健学教育部学生の社会貢献活動をWebページ等により広く情報発信する。	保健学教育部(教員・学生)の社会貢献活動を保健学教育部Webページに掲載し広報することとし、広報・紀要委員会で情報を収集することとした。	Webページのデザイン変更や掲載内容を刷新するとともに、教員・学生の社会貢献活動を随時Webページに掲載可能とし、広く情報発信に努めた。
	(次の組織評価までに改善する計画) 情報収集・発信等の体制を検証し、必要に応じ改善する。	保健学教育部(教員・学生)の社会貢献活動を保健学教育部Webページに掲載し広報することとし、広報・紀要委員会で情報を収集することとした。	Webページのデザイン変更や掲載内容を刷新するとともに、教員・学生の社会貢献活動を随時Webページに掲載可能とし、広く情報発信に努めた。
国際化	(法人評価までに改善する計画) 学生募集要項の英語版を作成し、Webページで公表する。 また、外国人留学生に不利とならない選抜方法を検討する。	博士前期課程及び博士後期課程の英語版学生募集要項をWebページに掲載した。また、博士後期課程の入学試験科目「英語」の学力判定は、平成30年度入試からTOEFL等のスコアを利用することとした。	改善済み
	(2年間で改善する計画) 外国人留学生に不利とならない選抜方法で入学試験を実施する。	入試委員会において、外国人に対する選抜方法について意見交換を行った。	入試委員会において、博士前期課程試験問題の設問・解答の完全英語化を可能とするため、設問を英語化可能な形式に変更することとした。また、平成30年度から実施する博士後期課程入学試験の外部試験の導入について、幅広い受験を可能とするため、TOEFL(iBT)、TOEIC L&R、IELTSのスコアを採用することを決定した。
	(次の組織評価までに改善する計画) 外国人留学生に対する選抜方法を検証し、必要に応じ改善する。また、海外の研究機関との共同研究等を通じて交流協定校の増加を図る。	・入試委員会において、外国人に対する選抜方法について意見交換を行った。 ・タイ王国・ナレスアン大学保健学部との部局間学術交流協定を平成28年3月に締結予定である。	・入試委員会において、海外からの外国人の大学院博士後期課程への受験を容易にするため、平成30年度からWeb面接を導入することを決定した。加えて、医学部保健学科での各教員の研究内容を幅広く公開し外国人受験者を増やすため、広報・図書委員会と連携し、英語での各教員の研究紹介を保健学科ホームページで公開する作業を進めている。 ・平成28年3月タイ王国・ナレスアン大学保健医療学部と部局間学術交流協定を締結した。また、平成28年10月アメリカ合衆国・カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護大学院との部局間学術交流協定を更新した。